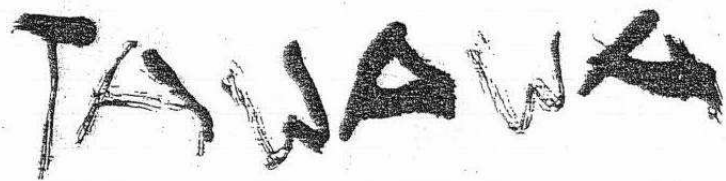


たわわ



地域で生きる障害者を支える会通

発行 2006年9月30日

70号 記念号

NPO法人「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

## 大きな変化も次へのステップに！

### これまでの活動を踏まえて

夏休み明けと共に 秋まつりの準備などいろいろ懸案事項が動き始め 秋らしい活気がでてきました。

そういえば、この10月にはグループホーム「よつばホーム」が、まる5年となり、この「たわわ」も70号をかぞえました。これも私たち『地域で生きる障害者を支える会』の足跡のひとつです。(大変お忙しい中を、顧問会員の皆さまに原稿をお寄せいただきありがとうございました。)

さて、行事の準備などは、忙しい中にもいそいそとした楽しさもありますが、今年は障害者自立支援法に伴う、障害者の生活や、活動に関わる仕組みの変化についての学習会や検討会なども多く生まれ、こちらのほうは、不安と深い悩みも伴っています。

これからの障害者たちの日常活動や、グループホームの生活や地域での暮らしの未来も見据えつつ... 活発に意見が交わされています。

\*

\*

\*

横浜の地域活動ホームは、これまでの活動にもっとも近い制度として、地域活動支援センター事業を選んでゆくことになりました。

これまでの地域活動ホームは、地域の方たちや障害者団体の代表者、社会福祉協議会支援センターの人たち等で構成された、運営委員会により運営され、デイサービスや、さまざまな生活支援事業をおこなってきました。

このため、障害者たちは障害の種別や程度に関わらず、個性に合わせて、いろいろなプログラムの中から活動を選び、地域の中にもどンドン出て生き生きと活動することができます。

地域の方にも、折に触れ 日常の活動でも、地域交流バザーのときなどにも、たくさんの支援を受けてきました。活動ホームは、単なる活動の場としてだけではなく、障害者が地域の中で自然に暮らしていくための重要な役割を果たしてきたといえます。

地域で生きる障害者を支える会の前身も、訓練会や、研究会の頃か、活動ホームを作る前よりかかわっていました。

こうして続けてきた、横浜独自の活動が、より良い形で継承され、さらに新しい未来に向かって進めるよう、願っています。







